

１０月の園だより

令和８年　９月２８日
杉並区立成田西子供園
園 長　　齋藤　由美

『やってみたい！を大切に』

主任教諭　松田　陽

日に日に秋らしい空気になってきました。子どもたちは『なりにしのさと』の忍者になりきって、いろいろな場面で体を動かすことを楽しんでいます。

４歳児ぺんぎん組や５歳児いるか組は、これまでの経験から、リレーやつなとり、玉入れなどへの憧れのような気持ちもあるようです。保育者が環境を用意すると、目をキラキラさせて、「やってみたい！」「これ知ってる！！」と嬉しそうに活動に参加する姿が見られました。３歳児らっこ組は、そんなぺんぎん組、いるか組の姿を見て、「自分たちもやってみたい！」と興味を広げていく姿があります。そんな子どもたちの興味や関心を読み取り、保育者がそれぞれの年齢や育ちにあった環境や用具で、同じような動きや遊びができるように援助していくことで、「やってみたい！」という思いが「自分たちもできた！」という嬉しさにつながっていっています。

幼児期は、多様な動きの経験が大切だと言われています。多様な動きの経験とは、特定の競技や決まった動きの習得ではなく、自分でいろいろな体の使い方を試しながら、様々に体を動かす中で、動きのバリエーションとレパートリーを広げていくことだと言われています。だからこそ、自分たちの遊びの中で、運動遊びに親しみ、体を動かすことを繰り返し楽しむ経験が大切です。

ぺんぎん組の忍者修行では、一本橋や巧技台（岩）登とジャンプ、ゴム（草）跳びなどを計画しています。同じ一本橋渡りでも、カニ歩きのように横向きで渡る、前を向いてゆっくりとバランスを取りながら渡る、勢いをつけて駆け抜けるように渡る、猫のように四つ這いで渡る…など、いろいろな動きが見られました。どの動きが正解ということではなく、繰り返し遊んでいく過程で、自分で考えたり、友達の姿を見たりしながら、いろいろな動きを試し、経験したということが、子どもたちの運動経験として積み重なっていきます。この積み重ねが、自分が思った通りに体が動かせるという“運動神経”につながっていきます。運動会当日は、限られた時間の中で、限られた動きの場面しか見ていただくことはできませんが、当日までの過程や、運動会後の遊びの中で、お子さんがたくさんの動きを楽しむ姿を、ぜひ一緒に見守っていただければと思います。

子どもたちの「やってみたい！」を支える上で、もう一つ大切なことがあります。それは、子どもたち一人ひとりの基礎体力がしっかりと育っているということです。特定の動きができても、新しいことに興味をもち、「やってみたい！」と主体的に参加していくためには、心と体の体力が欠かせません。これは、日々の生活の中で「自分のことは自分でできる」という経験や、荷物を持つ、自分の足で歩く、といった日常動作の積み重ねが大切だと言われています。園生活の中でも、育ちに合わせて少しずつ、自分たちで扱える遊具や用具を増やしたり、子ども自身に任せたりする場面を増やし、環境を通して育ちを支える援助を行っています。生活に必要なことも、子どもたち自身が「先生（大きい組）のようにやってみたい！」「自分にもできる！」と感じられることを大切にし、嬉しさを味わいながら取り組めるようにしています。

ご家庭の中でも、時折お子さんの成長を振り返り、ちょっとだけ新しいことに挑戦できるような機会を作れるとよいかもしれません。また、歩くことが一番心地よい季節にもなりました。登降園時や近隣へのお散歩など、お子さんと一緒に手をつなぎながら、歩く楽しみも味わってもらえたらと思います。子供園の周辺は自然環境にも恵まれて、寄り道も楽しい地域です。今だからこそ楽しめるお子さんとの時間を、満喫してくださいね！

☆子どもたちの様子と今月のねらい・おすすめ絵本☆

３歳児らっこ組

♡子どもたちの様子♡

２学期が始まってから、忍者になって修行したり、たぬきになって踊ったりして身体を動かして遊ぶことを繰り返してきました。また、保育者や他児と同じものを持ったり、同じ動きをしたりするうれしさを感じるようになってきています。

今月もいろいろなものをつくったり、何かになりきって動いたりして、一人ひとりの「こんなことをやってみたい！」という思いを実現できるようにしていきます。

また、過ごしやすい季節になりますので、散歩にも出かけ、自然に触れたり、広場で思い切り体を動かしたりする経験も重ねられるようにします。

✿今月のねらい✿

〇保育者や他の幼児がしていることに興味をもち、まねたり自分から関わろうとしたりする。
〇保育者や周囲の幼児と一緒に走ったり、音楽に合わせて踊ったりして体を動かすことを楽しむ。
〇生活の流れの中で、自分でできることはやろうとする。

◆おすすめ絵本◆

『どんぐり　とんぽろりん』　武鹿悦子／作　柿本幸造／絵　ひさかたチャイルド
『おいもさんがね』　とよた　かずひこ/文・絵　童心社

４歳児ぺんぎん組

♡子どもたちの様子♡

面白そうなことを見つけるのが大好きなぺんぎん組。誰かが楽しいことを始めると、次々に「やってみたい！」と仲間が集まってきます。保育者が提案したり、コーナーで用意したりした遊びも、すぐに興味をもってやってみる姿が見られます。いろいろな遊びや技法、動きの楽しさを味わいながら、遊びのレパートリーを豊かにしている時期です。その中で、少しずつ自分のお気に入りや、気の合う友達との継続的な遊びも出てきました。今月も、いろいろな遊びの経験を重ねながら、遊びの中で友達と楽しさを共有したり、思いを伝えあったりすることができるよう、支えていきます。

また、『なりにしのさと』の忍者としても、いろいろな修業を楽しんでいます。多様な動きの経験ができるように、学級の活動だけでなく、自分で選んだ遊びの中でも体を動かすことを繰り返し楽しめるようにしていきます。

✿今月のねらい✿

〇いろいろな遊びや秋の自然に興味をもち、自分から関わってみようとする。
〇自分の思いを出して遊びながら、同じ場にいる友達との関わりを楽しむ。
〇いろいろな食材に興味をもち、食べてみようとする。

◆おすすめ絵本◆

『まほうのえのぐ』　林　明子／作・絵　　福音館書店
『にんじゃべんとう』　木坂　涼／作　　いりやま　さとし／絵　　教育画劇

５歳児いるか組

♡子どもたちの様子♡

秘伝の書をきっかけに『なりにしのさと』で思い切り走ったり、綱を取るために仲間と諦めずに引っ張ったりと、勇気・元気・仲間の印を集めるために毎日修行に取り組んできました。また忍者やトカゲになりきりって動くことも楽しんでいます。「次勝つためにはどうしたらいいかな？」と友達と力を合わせて考えや力を出し合ったり、「こんな動きをしてみようよ！」と振付を考えたりする中で、体を思い切り動かすことの心地よさや充実感、友達と力を合わせて取り組む嬉しさを感じているようです。

月末にはバス遠足を計画しています。学級全体での共通体験が、友達との遊びの中で再現され、イメージを伝え合って遊ぶ楽しさにつながるようにしていきます。

✿今月のねらい✿

〇友達と思いを伝え合いながら、工夫して一緒に遊びを進める楽しさを味わう。
〇自分のめあてに向かって力を出すことの心地よさを感じ、十分に体を動かして遊ぶ。
〇一日の園生活の流れに見通しをもち、友達と声を掛け合って行動する。

◆おすすめ絵本◆

『わんぱくだんのどんぐりまつり』　ゆきのゆみこ・作　上野与志・絵　　ひさかたチャイルド
『すいぞくかんの　みんなの１日』　松橋利光・写真　　なかのひろ・絵　　アリス館